



第4回シンポジウム

研究開発の最前線に迫り、今後への示唆を得る!!

2017年2月16日(木) 15:00-17:35 (13:00より関連イベント)
(14:30から招待講演)

信州大学国際科学イノベーションセンター (AICS) 2階
(長野市若里4-17-1 信州大学長野(工学)キャンパス内)

アクア・イノベーション拠点が目指すのは、地球上の誰もが十分な水を手に入れられる社会の実現に貢献することであり、そのためにナノカーボン膜を利用した革新的な造水・水循環システムの構築に、産学官が連携して取り組んでいます。第4回シンポジウムは、プロジェクトの進ちょく報告に加え、プロジェクト発足にかかわった3人に講演を頂き、今後についての示唆を得ることを目的と致します。ぜひご参加ください。

- ◆ 入場無料
- ◆ 先着 250名 (事前登録制)

プログラム

※ プログラムは予告なく、変更することがあります。ご了承ください。

13:00~14:30 : ポスターセッション(コアタイム)

14:30~15:00 : 招待講演

箱山愛香・リオ五輪日本代表

(シンクロナイズドスイミング女子団体銅メダル)

15:00~15:05 : 開会あいさつ

濱田州博・信州大学学長

15:05~15:15 : 来賓あいさつ

文部科学省〈調整中〉

住川雅晴・JST COIビジョン3 ビジヨナリリーダー

阿部守一・長野県知事〈調整中〉

加藤久雄・長野市長〈調整中〉

中沢正直・須坂市副市長

15:15~16:35 : 特別講演、基調講演

土屋定之・文部科学省顧問(前事務次官)

「(仮)イノベーションで創る未来」

中村道治・科学技術振興機構顧問(前理事長)

「わが国の持続的発展に向けたCOIの役割」

阿部晃一・東レ株式会社副社長

「日本流イノベーションの創出」

16:35~17:30 : COI研究の進ちょく状況

上田新次郎・COI拠点プロジェクトリーダー

遠藤守信・COI拠点 研究リーダー

高橋桂子・COI-S拠点 研究リーダー

17:30~17:35 : 閉会あいさつ

中村宗一郎・信州大学理事



お申し込み方法

参加をご希望の方は、メールまたはインターネットからお申込みください。

【メールでのお申込み】

①名前、②フリガナ、③所属、④役職、⑤電話番号、⑥メールアドレスを明記し、
coi_info@shinshu-u.ac.jp まで。

【インターネットからのお申込み】

次のURLかQRコードでアクセスができます。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc44K41icFfl9owpUlmZp41WaiGmgmV2Bdfy_sjrrF2-Kg8ZGQ/viewform
こちらのホームページからもお申込みできます。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/coi/>



お問い合わせ:

信州大アクア・イノベーション拠点支援課
TEL 026-269-5771



- ① JR長野駅東口から長電バス21番のりばより、「日赤經由アークス中央行き」「日赤經由水野美術館行き」のいずれかに乗車(5分)、バス停「信大工学部」下車。(徒歩2分)
- ② JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばで、「日赤經由大塚南行き」「松岡行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車(8分)、バス停「信大工学部前」下車。(徒歩3分)
- ③ JR長野駅東口から、徒歩20分。

招待・特別・基調講演 講師のプロフィール



特別講演

土屋 定之(つちや・さだゆき) 様

◇現職：文部科学省顧問

◇略歴：1979年3月 北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了
1979年4月 旧科学技術庁入庁, 1995年1月 ロスアンジェルス駐在員事務所長, 1997年7月 原子力局核燃料課長, 1999年7月 科学技術振興局科学技術情報課長, 2001年7月 文科省科政局基盤政策課長, 2004年1月 開発局開発企画課長, 2004年7月 官房総務課長, 2006年7月 文化庁文化財部長, 2007年7月 官房審議官(高等局担当), 2008年7月 同政策評価審議官, 2009年7月 総括審議官, 2010年7月 官房長, 2012年1月 科学技術・学術政策局長, 2014年1月 文部科学審議官, 2015年8月 事務次官, 2016年6月 顧問就任(現在に至る)



基調講演

中村 道治(なかむら・みちはる) 様

◇現職：国立研究開発法人 科学技術振興機構 顧問

◇略歴：1967年3月 東京大学大学院理学系研究科修士課程(物理)修了, 理学博士
1967年4月 株式会社日立製作所入社 中央研究所勤務(化合物半導体, 光エレクトロニクスの研究開発), 1990年8月 同社日立研究所 副所長(エネルギー, 環境, 材料の研究開発), 1992年8月 同社中央研究所 所長(エレクトロニクス, 情報通信, ライフサイエンスの研究開発), 2001年4月 同社理事 研究開発本部長(全社研究開発), 2004年4月 同社執行役副社長(全社研究開発, 新事業育成), 2007年4月 同社フェロー, 2008年6月 同社取締役, 2011年10月 独立行政法人 科学技術振興機構 理事長(政策達成型研究開発, 科学技術情報提供, 次世代人材育成, 科学技術コミュニケーション), 2015年10月 同顧問(現在に至る)



基調講演

阿部 晃一(あべ・こういち) 様

◇現職：東レ株式会社 代表取締役副社長, 技術センター所長(CTO), 知的財産部門・自動車材料戦略推進室・地球環境事業戦略推進室・ライフイノベーション事業戦略推進室全般担当, 東レ総合研修センター所長

◇略歴：1977年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程(物理化学)修了
1977年4月 東レ株式会社入社, 2004年6月 愛知工場長, 2005年6月 取締役, 2009年6月 常務取締役, 2011年6月 専務取締役, 2013年6月 代表取締役専務取締役, 2014年6月 代表取締役副社長(現在に至る)



招待講演

箱山 愛香

(はこやま・あいか) 様
リオ五輪シンクロナイズド
スイミング日本代表, 栗田
病院経営企画課広報担当

【略歴】1991年、長野市生まれ、小学校2年から長野シンクロクラブでシンクロを始める。長野日大高校から日本体育大学に進学、大学卒業後地元長野に戻り、栗田病院で働きながら競技生活を送り、2015年世界水泳で3位、2016年リオ五輪で3位(銅メダル)

信州大COIとCOI-S 進ちよく報告者のプロフィール



プロジェクトリーダー：上田新次郎(うえだ・しんじろう)

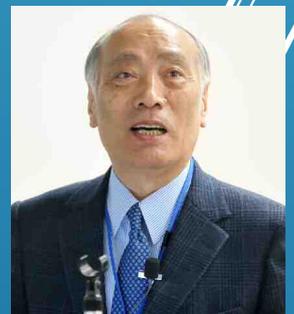
◇現職：株式会社日立製作所 産業水統括本部技術最高顧問, 海外水循環システム協議会理事長, アクア・イノベーション拠点研究推進機構長

◇略歴：東京大学工学系大学院航空宇宙工学科博士課程修了, 工学博士
1974年 日立製作所入社, 1997年 機械研究所副所長, 1998年 研究開発推進本部副本部長, 日立コーポレート研究所の研究戦略を統括, 2002年 日立プラント建設松戸研究所所長, 2006年 株式会社日立プラントテクノロジー 発足(日立プラント建設が他3社と合併), 同社執行役常務研究開発本部本部長, 2008年 同社執行役専務研究開発本部本部長, 2010年 同社代表取締役執行役副社長兼日立製作所水環境ソリューション事業統括本部長(6月1日設立), 2011年 同社代表取締役副社長執行役員(4月1日執行役員制度導入に伴う), 2012年 同社技術最高顧問, 2013年 日立製作所インフラシステム社技術最高顧問

研究リーダー：遠藤守信(えんどう・もりのぶ)

◇現職：信州大学特別特任教授, 信州大学先鋭領域融合研究群カーボン科学研究所名誉所長

◇略歴：信州大学大学院工学研究科修士課程修了, 工学博士(名古屋大学), 仏オルレアン大学博士
1972年 信州大学助手(日立製作所勤務を経て), 1977年 信州大学工学部講師, 1978年 信州大学工学部准教授, 1990年 信州大学工学部教授, 1993年～1995年 信州大学地域共同研究センター長(併任), 2004年～2010年 炭素材料学会会長, 2004年7月 Medal of Achievement in Carbon Science and Technology(American Carbon Society), 2007年4月 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門), 触媒気相成長法によるカーボンナノチューブの研究, 2008年5月 紫綬褒章をそれぞれ受賞, 2005年～2012年 カーボン科学研究所所長(併任), この間, フランスC N R S 客員研究員, M I T 招聘研究員など歴任, 2012年 信州大学特別特任教授, カーボン科学研究所名誉所長



COI-S研究リーダー：高橋 桂子(たかはし・けいこ)

◇現職：海洋研究開発機構・地球情報基盤センター長

◇略歴：東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻 博士前期・後期課程修了, 工学博士
花王株式会社社理科学研究所, ケンブリッジ大学コンピュータ研究所客員研究員, 東京工業大学準客員研究員, NASDA(当時)招聘研究員を経て, 2002年より独立行政法人海洋研究開発機構(当時)に所属。2014年より国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター長。専門は, 超大規模シミュレーションによる大気, 海洋現象の予測研究および超並列計算の高速技術開発に従事。COI-S『水』大循環をベースとした持続的な「水・人間環境」構築拠点研究リーダー。計測自動制御学会理事, 可視化情報学会副会長, 日本流体力学会, 日本応用数理学会等の元理事。第20・21・22期日本学術会議連携会員, 第23期日本学術会議会員。

